

[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2003年10月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

皇后陛下のご臨席を賜り 第5回日本太鼓全国障害者大会を開催



(演奏をご覧になる皇后陛下)

日本財団助成事業として日本太鼓全国障害者大会が、第5回を記念し、9月6日に初めて東京（青山劇場）において開催されました。当日は1,200名の観客で賑わいました。

今回は、主催・（財）日本太鼓連盟、主管・（財）日本太鼓連盟関東地区協議会、東京都支部、社会福祉法人富岳会、後援・厚生労働省、文化庁、東京都、東京都教育委員会等のもと行われました。

大会は、療育的な見地から日本太鼓に積極的に取り組んでいる18チーム、出演者255名が一同に会し、代表者による体験発表と太鼓演奏が行われました。各チームの体験発表は、自分たちが障害を持ちながらも太鼓との出会いにより勇気づけられ、友情が芽生え、生き甲斐を見つけるまでの経緯や現在の心境を、時には手話を介して真摯に語っていたのが印象的でした。また、会場のロビーを使って障害者による絵画展が開かれ、多くの方が作品に強い関心を示されておりました。

なお、当日は皇后陛下に行啓賜り、演奏終了後には出演者全員に親しくお声をかけていただきました。皇后陛下の優しいお言葉に出演者の方々は感動し、一生の思い出になると大変喜んでいました。

第6回大会は来秋に長野県諏訪市で開催予定

第6回大会は2004年10月3日（日）長野県諏訪市文化センターにおいて開催を予定しております。なお、詳細につきましては、財団事務局までお問合せ下さい。



(フィナーレを飾った富岳太鼓)

出演団体<18チーム>

- ・勤労障害者長崎打楽交流団 瑞宝太鼓（長崎県）
- ・静岡県立静岡北養護学校 北龍太鼓（静岡県）
- ・和太鼓ちんどん（長野県）
- ・ファミリーユニット童鼓（岐阜県）
- ・すみれ太鼓（長野県）
- ・石川県立ろう学校 風神太鼓（石川県）
- ・糸口太鼓（大分県）
- ・金谷大井川川越し太鼓チャレンジチーム（静岡県）
- ・伊予三島いわくら太鼓 鼓龍会（愛媛県）
- ・豊里学園 和太鼓 鼓粹（大阪府）
- ・前野福祉園 太鼓俱楽部にこにこ（東京都）
- ・伊豆医療福祉センター どんづく（静岡県）
- ・仁寿太鼓（島根県）
- ・静岡ハンディキャップ太鼓の会（静岡県）
- ・古塔山びこ太鼓（長野県）
- ・恵那のまつり太鼓（岐阜県）
- ・甲州ろうあ太鼓（山梨県）
- ・富岳太鼓（静岡県）

《出演順》

勤労障害者長崎打楽交流団 瑞宝太鼓

岩本 友広

ぼくたちは2年前、プロになった。ぼくたちは、プロの太鼓打ちになることが夢だった。

プロは何回かコンサートや舞台でみたけど、すごかった。“ぼくも、あんな風に、かっこよく、うまくなりたいな”胸がドキドキするほど、そう思った。

でも、“そげんことは100年早か！毎日の仕事をちゃんとしとらんと、太鼓もできんぞ”と言われた。

でも、太鼓が好きだから、仕事しながら、残業しながら太鼓を続けた。

残業で練習もできなくて、おまけに休みも少なくて、からだもきつかったけど、休みの日に太鼓の依頼があると、すっとんでたたきに行った。

また次の日、仕事できつかったけど、でもボート休んでいるより、太鼓をたたきにいく方がずっとましだと思った。

でも、だんだん仕事がいそがしくなって、練習もできなくなって、自分で思うような太鼓がたたけなくって、でも会社のおじちゃん、おばちゃんにはめいわくかけたくないし、でも大好きな太鼓はたたきたいし、ぼくなりになやんだ。会社のこと、仲間のこと、給料のこと、将来のこと。

でも決めた。やっぱりぼくは太鼓が好きだ。どこまでやれるだろうとか、いろいろ心配もあるけど、このままでいたくない。もっと上手になりたい。もっとたくさん人の拍手がもらいたい。

あれから2年。最初は本当にこれからどうなるんだろう、と思った。

はじめて舞台にたった時も涙がでるほどめちゃくちゃ緊張したけど、太鼓を仕事にして、本当に給料がもらえるのだろうか、家賃が払えるのだろうか、太鼓でメシが食っていけるのだろうか、ハラハラしてた。

心配になって太鼓を楽しんでたたくことができんことがあった。でも、いっしうけんめい、いっしうけんめい、汗をポタポタ流して、まめいっぱいつくって、がんばってやってたら、少しずつうまくなった。新しい曲も早く覚えることができるようになった。そしたら、拍手も少しずつたくさんもらえるようになった。

おっかけみたいなおばちゃんもできた。年のおわりにはおもなできごとの1つに、ぼくたちの瑞宝太鼓ががんばっていることが新聞にのった。うそみたいと思いながら、とてもうれしかった。今、ぼくには3つの目標がある。

1つめは、コンテスト入賞。去年「第1回東京国際和太鼓コンテスト」に全国100チーム以上の中から選ばれて本選出場をすることができた。でも緊張して頭が真っ白になって、自分たちの演奏ができなかった。

涙がとまらなかった。来年こそはとみんなと約束して、今年も本選にでれることが決まった。

みんなでばんざいして、今年こそ賞をとるぞとちかった。

2つめは、三重県でコンサートすること。遠くはなれた三重県でがんばっているおかあさん。そして兄弟たちの前で、ぼくのいっしうけんめいたく太鼓をみてほしい、おかあさんによろこんでもらいたい。

そして3つめは、結婚。ぼくには彼女がいる。

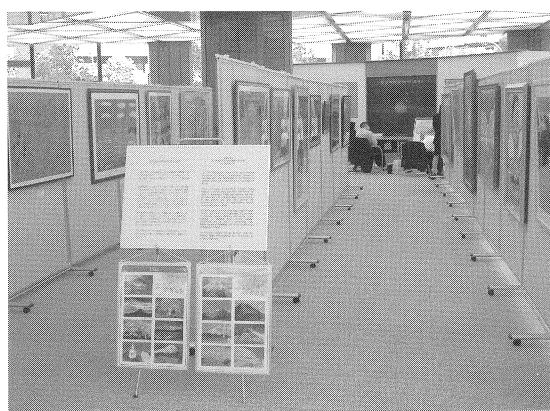
なかなか休みもあわなくて、あえることも少ないけど、でも彼女が好きだ。彼女も、ぼくが結婚を前提につきあって下さい、っていいたら、“いいよ”と言ってくれた。みんなも応援してくれる。

子どもも好きだし、いいおとうさんになりたい。もっとたくさん給料がもらえるようがんばりたい。大好きな太鼓と、大好きな仲間といっしょに。

ピュア・アート・コレクション(富岳会)を日本財団ビルにて開催

9月16日から19日まで日本財団ビル1階ロビー「バルーム」において、知的障害者による作品展（絵画・陶芸）「ピュア・アート・コレクション」が社会福祉法人富岳会主催のもと開催され、展示された作品は、大変素晴らしい色彩、構図で描かれており、非常に見応えがあるとの評価を受けました。4日間で、約700名の方々にご覧いただきました。

絵画を出した方の中には、太鼓を打っている人もおります。このように、太鼓療育と絵画療育が障害者の自信と自立心を高める手助けになっています。



(ピュア・アート・コレクション)

世界27カ国の人たちに日本太鼓を披露

～ロシアで初めての太鼓公演を実施～



(橋太鼓 韶座)

今回、ロシア・モスクワ市において開催された第4回世界糸東流空手道選手権大会に、全日本空手道連盟糸東会からの出演要請を受け、宮崎県の橋太鼓響座（岩切邦光代表以下4名）を8月18日から26日まで派遣いたしました。

世界大会には世界27カ国からの参加があり、大きな会場が参加者、応援団でほとんど埋まってしまうほどの盛り上がりでした。

会場に響き渡る太鼓の一打一打に驚き、太鼓演奏が行われたステージには、好奇心を募らせた多くの観客が集まっていました。

なお、ロシアでは社会制度の違いから、当日まで日程が決まらず、なかなか演奏予定が組めないなど、大変苦労しましたが、橋太鼓響座の皆様には臨機応変に対応していただき、感謝しております。

ロシア・モスクワ公演を終えて

橋太鼓 韶座 代表 岩切 邦光

今回、ロシア・モスクワでの世界糸東流空手道選手権大会での出演機会をいただき、大変嬉しく、また光栄に思いました。

私たち、橋太鼓響座は（財）日本太鼓連盟に加盟してから、3回目の海外公演となります。また、響座としては、10回目の海外公演となる節目の公演ともなりました。

このロシア・モスクワ公演を行うにあたって、メンバーの仕事の調整がつかず、構成に大変苦労しました。また、出発直前にメンバーの1人が過労により倒れるという事態が発生し、息子の岩切響一（10才）を含む4人での海外公演となりました。

まず、モスクワに到着して、すぐ会場に向かい大変驚きました。なんと、演奏会場はモスクワオリンピックで使われたバレーボール会場というこ

とでした。収容人数8,000人、またアリーナはスケートリンクにもなるというスケールの大きさでした。

翌日、練習を行い、広い会場での演奏の難しさを改めて痛感しました。しかし、塩見理事長のアドバイスにより難しさを克服し、本番を迎えることができました。

本番では、各国の選手に喜んでいただき、海外初の岩切響一もカメラ、サイン攻めにあい、少し戸惑った様子でしたが、よい経験になったと思います。

このロシア・モスクワ公演を無事終了できたことを喜びと思い、また、塩見理事長をはじめ連盟の皆様に、最後までご迷惑おかけしたことを心からお詫びし、色々とお心遣いいただいたことを深く感謝いたします。

初めての海外公演に参加して

橋太鼓 韶座 岩切 韶一

僕は、響座でのロシア・モスクワ公演があると聞いた時に、絶対行きたいと思いました。それはなぜかというと、二度とないチャンスだと思ったからです。はじめは、お父さんに「連れて行けるか分からぬ」と言われたけど、日本太鼓連盟から行ってもいいという知らせが来たとき、すごくうれしかったです。

ロシアでの演奏は、ものすごく広い会場で、とても不安でした。けど、練習をして、少し自信がつきました。開会式で一番最初に打った時に、ものすごく緊張しましたが、いろんな国の人々に拍手をもらい、ほっとしました。また、演奏が終わったあと、写真を撮られたり、サインを頼まれてうれしかったです。そしてそのあと、何回も出演するたびに楽しく太鼓が打てました。

また、海外公演があったら、ぜひ参加したいと思います。僕にとって、今回の海外公演は夏休みの一番の思い出となりました。

（財）日本太鼓連盟の皆さん本当にありがとうございました。

<派遣メンバー>

<橋太鼓 韶座>

岩切邦光（代表）、岩切響一、中川常雄、西口勝

<財團法人日本太鼓連盟>

塩見和子（理事長）、大澤和彦（総務部長）、

印出公平（職員）

日本太鼓と学校教育—⑯

千葉、群馬、栃木県では県支部（県連盟）の主催により、「教職員日本太鼓実技研修会」が行われ、多くの小中高の先生方が参加されました。本研修会は県支部の強い要請により、県教育委員会の協力を得て実施されたもので、先生方にも高い評価を受けました。今後、先生方が日本太鼓の指導者としての技術や指導要領を習得し、それを各学校の音楽時間に活かされるものと期待しております。学校における日本太鼓の普及、振興を図るためにも各支部におかれても、この研修会を参考に積極的な開催をお願いします。

1. 千葉県教職員日本太鼓実技研修会（連盟助成事業）

主 催：（財）日本太鼓連盟千葉県支部、千葉県太鼓連盟

日 時：2003年7月20日

場 所：九十九里中央公民館

指導者数：15名（1級公認指導員1名、3級公認指導員2名、全国講習会参加者12名）

参 加 者：16名（女性14名・男性2名）

受 講 料：1,000円

目 的：第1回目ということで、「体験する」ということを目的とした。また、今後の参考とするため、アンケート調査を行った。

千葉県教職員日本太鼓研修会の模様が新聞に大きく掲載されました。

千葉日報（日刊）

2003年（平成15年）7月21日（月曜日）

（14）



小中学校教諭が和太鼓の打ち方の指導を受けた=九十九里町中央公民館

学 和 太 鼓
先 生 が
ぶ

県連盟、打ち方など指導
全国に先駆け邦楽教育へ

九十九里

先生が太鼓を教わる
「県教職員和太鼓実技研修会」の第一回が二十日、九十九里町中央公民館で行われ、県内各地の小中学校の教諭十八人が、太鼓グループから技の指導を受けた。日本の伝統音楽文化や豊かな情操教育に生かす。

主催は千葉県太鼓連盟（富崎義政会長）鉢子はね太鼓保存会、二十九団体。文部科学省の学習指導要領改訂で、〇二年度から「中学三年間に音楽で和楽器を一種類以上用いる」という邦楽の採り入れが決まったことから、日本太鼓連盟（都道府県三十七支部、八百二団体）が協力。全国にさ

きがけて同連盟が県教委に提案、初の開催が決まりた。参加教諭は、地元の黒潮太鼓（小倉正義代表）ら七団体グループの指導者から、バチの握り方、全国統一の基本の打ち方などを教わった。最初は「口ボットみたいになつて難しい」と緊張気味だったが、次第に慣れり

づく感ある勇壮な音が響き、最後は楽しく曲演奏で締めくくった。富崎会長は「太鼓は音楽でありスポーツ。基本を学んだら、教育現場で生かしてほしい」として

今後も広く教諭の参加を募り、定期的な開催を予定している。

2. 群馬県教職員日本太鼓実技研修会

(連盟助成事業)

主 催：(財) 日本太鼓連盟群馬県支部
群馬県太鼓連合
日 時：2003年7月26日
場 所：群馬県総合教育センター
指導者数：29名
(3級公認指導員3名、全国講習会参加者3名)
参 加 者：96名 (女性89名・男性7名)
受 講 料：780円
目 的：県内小中学校、高校の教職員を対象に基
本的な打ち方及び初級、中級それぞれの
曲を習得してもらう。

教職員日本太鼓実技研修会を開催して

(財) 日本太鼓連盟群馬県支部
支 部 長 上原 徳夫

好評だった昨年の日本太鼓実技研修会をふまえ
て、今年度も第2回群馬県教職員日本太鼓研修会を
7月26日に実施しました。

当初の計画では、昨年同様、平日を予定しておりましたが、教育センターより土曜日の指定があり、我々としても好都合でしたので、計画を変更し実施しました。教育担当者に伺いますと、昨年度、締め切り後に100名を超える断りの連絡を1件1件入れたとのこと。同様の募集だと集まり過ぎて大変かと、あえて休日の土曜日を設定し、教職員の自主参加の形をとりました。そのせいか、何かと昨年と空気が違うし、諸手当が一切付かないにもかかわらず、参加者は96名と昨年の1.5倍でした。

今回、初級と中級の2講習を計画してみました。参加者名簿の中に、昨年度参加者が8名、それと学校単位の参加校が2校あり、初めてバチを握る初心者と一緒にでは物足りないのではないかと思い、充実した講習とマンネリ感の防止などの観点から、拳手による自主選択をしてもらい中級講習を16名で実施しました。今回の教職員実技研修の場合、9割強は女性ですが、年齢、体力、能力等が比較的平均しているようでした。

1日講習でも、実質5時間程で、企画した予定を消化するのはかなりハードですので、タイムスケジュールはしっかりと作成しました。

中級の中身は、特に考えました。太鼓は「叩く」のではなく、「打つ」のだということ、日本の心や所作等についても伝えたいと思いましたが、多少解って貰えたように思います。講習最後に、初級4グループ、中級1グループにて練習曲の発表を

実施。上手く打てた人、打てなかった人、テープингだらけの手の人、それぞれでしたが、疲れた顔の中に充実した何かを、今まで体験したことのない何かを感じ、教育の現場に生かしてもらえるという手応えを得ました。

また、我々講師も、数人が初めての講師を試みた結果、「プレッシャーはあったが、やってよかったです。自信がついた。」とのことでした。

お疲れ様、お世話になりました。皆様の協力に感謝しつつ「実施してよかったです。」と充実感に浸りながら、教育センターをあとにしました。

3. 栃木県教職員日本太鼓実技研修会

主 催：(財) 日本太鼓連盟栃木県支部

栃木県太鼓連盟

日 時：2003年8月10日
場 所：栃木県総合教育センター体育館
指導者数：5名

(2級公認指導員2名、3級公認指導員3名)

参 加 者：41名 (女性40名・男性1名)

受 講 料：2,000円

目 的：初めて太鼓を打つ方のための基本打法と
単式複打の簡単な曲を演奏。また、今後
の参考とするため、アンケート調査を行
った。

アンケート結果は以下の通り。

A. 参加者の感想

- ・太鼓を打っていても、歴史等、まったく知らなかつたので、とても勉強になった。
- ・太鼓についての説明が大変分かりやすく、面白かった。
- ・リズム感も育つし、いい運動になった。これなら、子供たちも楽しめそう。
- ・打てるようになる自分が実感でき、今後も続けたいと思った。

B. 今後の研修会に関する意見

- ・定期的に開催してもらえたなら、また参加したい。
- ・次回は、初級、中級、上級等のコース別に開催してほしい。
- ・学校別の簡単な曲の紹介があるとよい。
- ・日本文化伝承の意味からも、もっと普及した方がよい。
- ・開催通知を県内全域に、また、早めにすると参加者が増えると思う。
- ・日本の伝統。ぜひ続けて欲しい。そして、太鼓に親しむ人がもっと増えればいいと思う。

第17回日本太鼓支部講習会(京都府)を開催



(5級基本講座)

第17回日本太鼓支部講習会が9月20・21日の両日、京都府亀山市の亀山市交流活動センターにおいて行われました。京都では2年ぶりの開催となりましたが、3・4・5級基本講座、かかえ桶講座が設けられ、地元京都をはじめ11都府県から88名の受講生が参加しました。講習会終了後、希望者による技術認定試験（学科、実技）が行われました。実施結果は次の通りです。

○基本講座

総合指導	講師 古屋 邦夫 氏
3級基本講座	講師 安江 信寿 氏
4級基本講座	講師 富治林 浩 氏
5級基本講座	講師 松枝 明美 氏

○専門講座

かかえ桶太鼓講座	講師 水地 清治 氏
技術認定試験の結果は次の通りです。	
3級検定	16名受検 13名認定
4級検定	26名受検 26名認定
5級検定	31名受検 31名認定

3,175名が資格を取得

2003年10月現在の公認指導員・技術認定員数は以下の通りです。

<公認指導員>

特別2名、1級24名、2級62名、3級114名、
総数202名

<技術認定員>

1級18名、2級70名、3級344名、
4級574名、5級1,967名 総数2,973名

第18回日本太鼓全国講習会（福島県）の案内

期 日	2003年11月22日（土）・23日（日）
主 催	財団法人日本太鼓連盟
主 管	財団法人日本太鼓連盟福島県支部
会 場	猪苗代町総合体育館カメリーナ（福島県猪苗代町）
専門講座	御諏訪太鼓講座………小口 大八氏（財団副会長・長野県）
	秩父屋台囃子講座………高野 右吉氏（埼玉県）
	締太鼓講座………長谷川 義氏（大分県）
基本講座	総合指導……古屋 邦夫氏（財団技術委員会委員長・長野県）
	3級基本講座………安江 信寿氏（石川県）
	4級基本講座………若山 雷門氏（岐阜県）
5級基本講座	………松枝 明美氏（長野県）
	………渡辺 洋一氏（東京都）

受講料	大人10,000円（会員9,000円）
	小人 5,000円（会員4,500円）
参加費	宿泊する場合 一律14,000円
	宿泊・食事4食・記念写真等
	宿泊しない場合 一律 4,000円
	食事2食・記念写真等
申込先	（財）日本太鼓連盟福島県支部 事務局長 渡辺徳太郎 Tel. 0243-63-1132 Fax.0243-63-1131
振込先	郵便局 口座番号 18200 27757221 口座名 財団法人日本太鼓連盟 福島県支部

第2期公認指導員更新研修会の案内

規程により3年毎に行われる公認指導員の第2期更新研修会は、下記のとおり2003年度の日本太鼓全国講習会と併せて実施します。なお、第1回更新研修会（第17回日本太鼓全国講習会）には57名の公認指導員が参加しました。残り145名が参加対象となります。

第2回更新研修会（第18回日本太鼓全国講習会）

開催日時：11月22日（土）・23日（日） 開催場所：猪苗代総合体育館カナリーナ（福島県猪苗代町）
第3回更新研修会（第19回日本太鼓全国講習会）

開催日時：2月14日（土）・15日（日） 開催場所：シーハットおおむら（長崎県大村市）

* なお、この研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意下さい。

第6回代議員会を開催

～2003年7月11日・東京～

「2002年度事業報告について」

昨年度実施事業の内容について説明を行い、特に異議無く了承された。

「2003年度事業計画について」

今年度実施予定事業の内容並びに収支予算について説明を行い、特に異議無く了承された。

「支部事業並びに支部会計の明確化について」

外部監査の指摘により、支部事業並びに支部経理を明確にするとともに、支部規約、支部役員名簿を整備し、その結果を報告するよう要請した。詳細については以下のとおり。

・実施事業を、財団主催事業（全国フェスティバル、ジュニアコンクール、障害者大会、全国講習会）並びに支部主催事業（ジュニアコンクール支部大会、支部講習会、財団助成金交付事業）に区分する。

*財団主催事業に関わる経費については、支部に關係なく財団が直接支払うこととする。

・2003年度より、事業報告は当該事業年度終了後3ヶ月以内に、事業計画は当該事業年度開始の1ヶ月前までに財団事務局へ提出する。

・支部経理は、上記支部事業に関わる収支並びに財団の年度会費及び入会金とする。

・支部経理を明確にするため、銀行または郵便口座を支部長（または事務局長）名で設置する。

・支部経理の事業年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わることとする。

・支部規約及び支部役員名簿、支部加盟団体等の資料を整備する。支部の最高議決機関（総会または理事会）を明確にし、開催のうえ議事録を保管する。

「支部の開設について」

北海道道南支部、新潟県支部の新規開設について報告を行った。また、初めて出席された北海道道南支部太田支部長、新潟県支部小泉支部長よりそれぞれ支部の紹介を兼ねた挨拶があった。

「公認指導員更新研修会について」

開催結果及び開催予定について説明を行った。

「教職員日本太鼓研修会について」

千葉県並びに群馬県で開催される「教職員日本太鼓研修会」の説明を行った。なお、群馬県支部上原支部長より、昨年度実施報告及び今年度実施計画の説明があった。

各方面で日本太鼓が演奏協力

水とのふれあいIN浜名湖

8月21日、静岡県浜名湖競艇場内に勇壮な太鼓が鳴り響きました。この日は、(財) B & G 財団が、マリンスポーツを通じて若者たちの健やかな身体と心の育成を目的に「水とのふれあいin浜名湖」を開催いたしました。約1,000名の参加者に、静岡県の金谷大井川川越し太鼓による元気な演奏を披露し、大きな拍手を浴びていました。



(金谷大井川川越し太鼓)

第16回水心会夏祭り

9月12日、天候に恵まれたなか、東京都船の科学館にて第16回水心会夏祭りが開催され、ステージショーとして太鼓による演奏が行われました。

今回は千葉県の飛翔しぶき太鼓が演奏し、力強いバチさばきで、大勢の競艇関係者を釘付けにしていました。演奏終了後、メンバーに観客が握手を求めるなど、大変な人気でした。



(飛翔しぶき太鼓)

国連ユニセフ記念式典

9月28日、東京都ユニセフハウスにおいて、29日から開催される「第3回アフリカ開発会議」を記念し、アフリカのマラリア問題に取り組む日本とユニセフのパートナーシップを披露する式典が開催されました。式典には、ユニセフ事務局長、各国大使等が参加され、長野県の信濃国松川響岳太鼓子供会による演奏を熱心に見入っていました。



(信濃国松川響岳太鼓子供会)

各地のたより

島根県江川太鼓保存会の樋口忠三氏より、第1回島根県文化祭文芸作品に出展された詩を寄稿していただきましたので、ここに紹介いたします。

夢の音

樋口 忠三

いつしか遠く はるか来て ドナウに響く 和太鼓の	音に思いは 江の川 ドン ドドーン ドーン	霧に浮かんで 流れくる 川面に伝う 太鼓の音 心に残る不思議さは 胸に漂う 懐かしさ 変わらぬ響きは あの日の鼓動	音が流れる 遠い谷 今と昔を つなぐ橋 山と川との ものがたり ドン ドン ドドーン 太鼓叩いて 友と呼び ワイン片手に 語り合う 楽しく叩く バチさばき いつしか唄う 神楽の太鼓 世界に届け ふるさとリズム	和太鼓響く 黒い森 木漏れ日求め 木漏れ日求め ちんどん太鼓に 踊りだす 飛んで開いて 両の足 楽しく叩き 舞いあがり 生きものすべて たわむれ遊ぶ	ドナウの川の 母となる 和太鼓響く 黒い森 陽気な木の精 目がさめた トントコトン トントントン 浮かれ出て 浮かれ出て 踊りだす 踊りだす 両の足 両の足 たわむれ遊ぶ たわむれ遊ぶ
-----------------------------	--------------------------	---	--	---	---

11月9日(日) 第2回(財)日本太鼓連盟北海道道西支部ジュニア太鼓コンクール(北海道滝川市)

<主催:(財)日本太鼓連盟北海道道西支部 会場:滝川文化センター>

お問合せ:事務局長 青木裕行 Tel.01235-2-3166 Fax.01235-2-0166

11月16日(日) 太鼓エモーション2003(群馬県藤岡市)

<主催:藤岡市、(財)藤岡市文化振興事業団、太鼓エモーション実行委員会 会場:みかほみらい館>

お問合せ:太鼓エモーション実行委員会(藤岡市企画課内) Tel.0274-22-1211

11月16日(日) 第6回日本太鼓全国ジュニアコンクール福島県支部予選(福島県双葉町)

<主催:(財)日本太鼓連盟福島県支部 会場:双葉町体育館>

お問合せ:事務局長 渡辺徳太郎 Tel.0243-63-1132 Fax.0243-63-1131

11月23日(日) 第29回富山の太鼓(富山県大沢町)

<主催:富山県太鼓協会 会場:大沢町文化会館>

お問合せ:事務局長 熊野誠 Tel.0763-32-2807

11月23日(日) 太鼓の花道VOL.6(宮城県仙台市)

<主催:仙台市民文化事業団 会場:イズミティ21>

お問合せ:仙台市民文化事業団調整課 Tel.022-727-1875

11月30日(日) 第6回日本太鼓全国ジュニアコンクール石川県大会(石川県鶴来町)

<主催:(財)日本太鼓連盟石川県支部 会場:鶴来町クレイン>

お問合せ:事務局長 得能力知 Tel/Fax.076-229-1433